

飯盛物語 2



学校教育目標

「命をだいに 人をだいに 自然をだいに美しく」

～やる気(心) 思いやりの心 たくましい心の育成～

飯盛中テーマ「自立 創造 貢献」

R6年度の合言葉「日々前進！」

～昨日の自分よりもさらに一歩前へ！～

第11話 令和6年9月19日発行

校長 池田英二

2学期学級委員紹介！！【9月2日(月)】

先日の始業式【9月2日(月)】の後に、2学期の学級委員の任命式を行いました。任命された後に、学級委員に全校生徒から期待の気持ちを込めて大きな拍手をもらいました。校長は、全学級委員の前で「各クラスの仲間と協力して、いじめのない明るく楽しい学級づくりをお願いします。」という話をしました。全校生徒一人ひとりが、毎日元気に登校でき、気持ちよく充実した学校生活を送れるように力を尽くしてほしいという願いを込めました。明るく楽しい学級をつくってほしいと思っています。2学期の学級委員を紹介いたします。



1年1組	平古場 翔君	林 由莉亜さん	1年2組	川上 諒太君	後田 椎那さん
2年1組	濱田 莉玖君	三浦 菜月さん	2年2組	只熊 玖一郎君	高見 莓果さん
3年1組	下釜 大雅君	池田 凜花さん	3年2組	團野 幸輝君	川下 心優さん

修学旅行説明会【9月5日(木)】

2年生の生徒・保護者を対象に、修学旅行説明会を実施しました。長く続いたコロナ禍もコロナが5類に移行することで、関西方面への修学旅行を実施することができるようになりました。校長のあいさつでも述べましたが、生徒にとっての修学旅行は、中学校生活の一番大きな思い出の一つになります。添乗員さんを始め、私達引率教師全員で協力して、生徒一人ひとりにとって一生の思い出に残る、安心・安全で楽しく充実した修学旅行にしていきたいと思っています。説明会には、2年生の多くの保護者の皆様にご参加いただき大変ありがとうございました。

【修学旅行の概要と行程】



- 日程：令和6年10月9日(水)～10月11日(金) 2泊3日
- 方面：関西(大阪・京都)方面
- 10月9日(水) 学校【バス】⇒博多駅【新幹線】⇒新神戸駅⇒人と防災未来センター⇒大阪城⇒ホテル
- 10月10日(木) ホテル【バス】⇒京都⇒京都班別自主研修⇒ホテル
- 10月11日(金) ホテル⇒京都型友禅体験⇒京都駅【新幹線】⇒博多駅【バス】⇒学校

1年生講演会【9月12日(木)】

飯盛町にお住いの山本芳弘様をお招きして1年生への講演をしていただきました。とても素晴らしい講演で、山本様の飯盛町への大きな愛を感じました。また「山本様のこれまでの歩みや飯盛町の偉人である浦野勝美様の話など」を通して、大きな志と夢をもつことや地域貢献の大切さを1年生に分かりやすく、熱く伝えていただきました。1年生の皆さんにも将来、山本様のように、郷土飯盛町を愛して、飯盛町の良さをどんどん発信していくことができる人になってほしいと思っています。



第1回学校評価の結果について

7月に実施しました第1回学校評価アンケートへのご協力ありがとうございました。集計が終わりましたので、分析結果と併せて報告いたします。詳細については別紙をご確認ください。今回の分析結果や教育相談等から浮き彫りとなった本校の課題に真摯に向き合い、今後の教育活動の質を高めるよう努力していきたいと思っております。今回の学校評価の結果で、一番気になったことは、メディアコントロールに関する達成率が極端に低いことです。長時間のスマホ使用で失うものが6つあると言われております。①睡眠時間 ②学力 ③脳機能 ④体力 ⑤視力 ⑥コミュニケーション能力 です。ご家庭でも「テレビ、ゲームやスマホの時間を決める」「勉強する時は、手元にスマホを置かない習慣を身につけさせる」等メディアコントロールのご指導をお願いいたします。これらのことはご家庭でのご協力がなければ学校だけでは絶対に達成できないことです。

今後とも本校の学校教育へのご理解とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

令和6年度 諫早市立飯盛中学校「学校評価」結果報告(第1回7月実施)

アンケート回答率(教職員:100、0% 生徒:83.1% 保護者:85.0%)

※評価内容の青色網掛け部分は、スクールプランにおける重点評価項目

○:目標達成、黄色網掛け:もう少し、△及び桃色網掛け:課題有、改善検討

評価項目	No	評価内容(教師)及び数値目標			達成率(4及び3の評価) %						
		教職員アンケート項目	生徒アンケート項目	保護者アンケート項目	教職員		生徒		保護者		
					7月	12月	7月	12月	7月	12月	
やる気	1	「学習5原則」の指導を徹底する教師	「学習5原則」を守る生徒 90%			100		87			
	2	「めあて」「まとめ」「振り返り」を実践する教師 100%	授業がよくわかると答える生徒 90%	学習内容が定着していると答える保護者		100		87		63	
	3	授業の工夫改善に取り組む教師 90%				100					
	4	授業で言語活動に取り組む教師	授業で書く活動や発表があると答える生徒 80%		100		94				
	5	家庭学習のしかたの指導を行う教師	家庭学習に毎日取り組む生徒 80%	家庭学習に取り組んでいると答える保護者		100		86		73	
	6	キャリア教育を意識した取組を行う教師	将来の目標に向かって努力する生徒 80%	将来の目標に向かって努力していると答える保護者		92		72		42	
思い豊かな心	7	「当たり前10か条」の指導に取り組む教師	時間や期限を守る生徒 90%	時間や期限を守る態度が身に付いていると答える保護者				80		58	
			返事や挨拶を元氣よく行う生徒 90%	返事や挨拶の習慣が身に付いていると答える保護者		100		83		78	
			机やロッカーの整理整頓を行う生徒 90%	整理整頓の習慣が身に付いていると答える保護者				83		36	
	8	道徳教育の充実に取り組む教師 100%	道徳では自分を見つめる場面があると答える生徒		100		89				
	9	特別支援教育に基づく指導を行う教師 80%	授業に集中しやすい環境と答える生徒 90%		100		65				
10	自己有用感や自尊感情を高める指導を工夫する教師	自分の役割を積極的に果たす生徒 90%	家庭で自分の役割を果たしていると答える保護者		100		87		64		
たくましい心	12	積極的な生徒指導に取り組む教師	学校は安全、安心で過ごしやすくと答える生徒 90%			100		81			
	13	安全面・生徒指導の報告、連絡、相談を確実に行う教師			92						
	14	いじめ防止基本方針に基づく指導を行う教師 100%	学校にはいじめがないと答える生徒 90%	学校にはいじめがないと答える保護者		100		74		74	
	15	生徒や保護者の悩みや相談に積極的に応じる教師	悩みや相談をしやすいと答える生徒 90%	先生(学校)に相談できると答える保護者		100		84		79	
	16	食物アレルギー対応を確実に行う教師				100					
	17	規則正しい生活習慣について指導を行う教師	朝食を毎日食べる生徒 90%			100		92			
			規則正しい生活をしている生徒 90%	規則正しい生活習慣が身に付いていると答える保護者				82		75	
			部活動に参加しやすい環境や指導体制の充実	部活動に積極的に取り組む生徒 90%	部活動に積極的に取り組んでいると答える保護者		85		80		86
	19	メディア接触に関する指導の充実	メディアコントロールができる生徒 80%	メディアコントロールができていると答える保護者		92		38		21	
働きやすい地域連携	20	地域教材や地域人材を積極的活用 90%	地域行事に積極的に参加する生徒 80%		100		71				
	21	地域や保護者への情報発信		学校のことがよくわかると答える保護者 80%		100				86	
	22	PTA活動への協力		PTA活動に協力する保護者 80%		100				78	
	23	勤務時間の縮減に向けた取組				92					
	24	働きやすい職場環境 90%				100					

【成果と課題】

○生徒の学習規律の定着、学習内容に理解については生徒の自己評価は高いが、理解の程度は教科によってばらつきが見られる。あらためて一人ひとりの職員の意識を高め、校内研修を通して授業改善を図りたい。

○昨年度までの市教育委員会指定研究「学力向上」への取組をおおむね踏襲することにより、研究授業、授業研究会を通して職員研修は充実しつつある。R6年度の3年生の全国学力・学習状況調査の結果は国語、数学共に諫早市では上位の成績を収めることができた。今年度も「読解力育成」と「書く活動」に焦点を当てた授業の工夫改善に取り組む、生徒の学力向上を図る。

○生徒の学習規律は定着しつつある。全体的には「授業がよくわかる」と回答する生徒の目標はおおむね達成できたが、保護者との意識の違いが気になる点がある。

○家庭学習の充実が本校の課題である。家庭学習(自主学習ノート)の取組に関する生徒の評価は高いが卒業後を見据え、発展的な家庭学習への取組を目指して継続的に指導する必要がある。家庭学習の取組に対する生徒と保護者の意識の違いが気になる点がある。

○評価結果からキャリア教育の「将来に向かって努力する生徒」の項目も保護者と生徒の意識の違いが感じられる。また、家庭と連携したキャリア教育を推進するために、学校での指導を充実させるとともに、安心・安全メールを活用した情報提供を積極的に行っているため、それをしっかり閲覧してもらえるように保護者に周知していきたい。

○「当たり前10か条」の取組も5年目を迎えて生徒に定着してきた。しかし整理整頓などに大きな課題があるため、家庭生活も含めて、「自分で気づき片付ける」生徒の自発的取組へと発展させるための指導を根気強く行っていかなければならない。

○道徳教育は4年目を迎えた「ローテーション道徳」を通して全職員による授業実践が定着し充実しつつある。より質の高い道徳教育を目指して、教師一人ひとりの授業力向上を図る。

○生徒は学級や学校で自分の役割を積極的に果たし、おおむね自己有用感を感じながら充実した生活を送っている様子がうかがえる。しかし昨年度より大幅に「授業に集中しやすい環境と答える」生徒が減少【昨年度:83%→本年度:65%】していることで大きな課題ととらえ、全校体制でチームとして「授業に集中しやすい環境」づくりを行っていく。さらなる学級活動や生徒会活動で自治活動の充実を図り、生徒の自己有用感をさらに高める指導を実践する。

○積極的な生徒指導の実践、定期的な生活アンケートの実施、そして職員の熱心な生徒への関わりにより、生徒がおおむね安心して学校生活を送っている様子がうかがえる。今後とも緩むことなく取組を継続していきたい。

○本校生徒の大部分は規則正しい生活習慣が身に付いている。一方でメディア使用が長く生活リズムが乱れている生徒が多数いるのも否めない。生徒会と連携しながらメディアコントロール1時間以内の意識を高めるとともに、本年度からは飯盛東小と連携しながら年3回のメディアコントロールウィークを実施して、家庭と連携した指導を根気強く続けていく取組を開始した。さらなる家庭との連携・協力の必要性を強く感じている。

○安心メールの導入により保護者への連絡体制を強化することができた。今後は、保護者の閲覧が増加するようにさらに周知を図ってきたい。今後タブレット活用も含めてICT活用の幅を広げ、保護者との良好な関係づくり、効率的でスピード感のある教育実践を模索する。

○コロナ禍も明けて5類に移行したことで、地域との連携もやりやすくなってきた。保護者評価からも本校は地域やPTAの協力が得やすい環境にあると言える。総合的な学習を中心に今できることから地域との関わりを深める教育実践に努める。

○諫早版働き方改革の推進、計画的な教育課程の実践により教職員の勤務状況は「働きやすい職場環境」の項目は達成率100%となり昨年度より大幅に改善した。教育の質の維持、部活動の地域移行の取組、そして地域・保護者との関係性の構築など、今後予想される課題を一つ一つクリアしながら、飯盛中の勤務環境の向上に向けて今後も積極的な改善に努めていきたい。